

授業グレードアップ Vol. 16

中学公民 ~ "経済" って難しい? ! ①~

普段の生活において、「経済」に関する次のような言葉をよく耳にします。

「経済的」、「経済観念」、「経済大国」、「経済成長率」、「経済封鎖」等

中学生の多くは、"経済"という言葉を聞くと、「難しそう」というイメージをもつていいのではないでしょうか。そこで、経済は身近なところに存在するものであることに気付かせ、市場経済の基本的な事柄や仕組みについて理解させる実践例を紹介します。

まず、「経済」の意味を辞書で確認させます。

【経済】(『ポケットプログレッシブ国語辞典』小学館より)

- ① 社会に必要な物を生産・分配・消費する活動。
- ② 金銭のやりくり。家計。



次に、「経済」に関わる身近な事例を提示します。(今回は上記①について)

《日本で一番高いカップ麺 ~富士山頂のカップ麺の価格~》

教師 「山小屋で販売しているカップ麺の値段はいくらするか知っていますか。」

「富士山頂の山小屋だと800円するそうです。」

「同じカップ麺の値段が、どうしてこんなに高くなるのでしょうか。」

生徒 「山小屋まで車を使えません。大変な思いをしてカップ麺を人が運ばなくてはいけないから、その輸送費として値段が高くなるのだと思います。」

生徒 「山小屋の人が、品物を運ぶのを誰かにお願いしていたとしたら人件費もかかります。必要な経費の分、高いのだと思います。」

教師 「そのことに納得して高い値段でも買う人がいるのですね。」

生徒 「山頂で食べるカップ麺は、すごくおいしいのだと思います。だから高くても買って食べたくなるのだと思います。」



最後に、経済に関する用語を使ってノートにまとめさせます。

教師 「『カップ麺を買って食べたい』というように、商品を買い入れたいという要求のことを『需要』と言います。そして、山小屋でカップ麺を販売するように、商品を市場に売りに出すことを『供給』と言います。市場とは、商品が売り買いされる場です。」

教師 「山小屋の人が、カップ麺を山頂で販売するわけを『需要』と『供給』の二つの言葉を使ってまとめてみましょう。」

生徒 「山頂では、カップ麺に対する登山客の『需要』が強くて、高い値段でも売れるから、輸送費や人件費をかけても山小屋に運んで『供給』する。」

このように、身近な事例を通して、価格には何を、どこで、どれだけ消費するかにかかわって人的・物質的資源を効率よく配分する働きがあることなど、市場経済の基本的な仕組みを学ぶことができます。

次回は、②金銭のやりくり、家計に関わる事例について紹介します。

